



・ゴールデンウィーク期間 休診のお知らせ

GW休診日：平成31年4月28日（日）～平成31年4月29日（月）

平成31年5月 3日（金）～平成31年5月 6日（月）

※平成31年4月30日（火）～平成31年5月2日（木）は、通常通りの診療となります。
なお、緊急の場合は救急外来で診療を行います。

部長就任のご挨拶

乳腺甲状腺外科 部長 田中 克浩（たなか かつひろ）



平成31年4月1日付けで川崎医科大学乳腺甲状腺外科特任教授ならびに同附属病院乳腺甲状腺外科部長を拝命いたしました。

私は昭和63年に徳島大学卒業以来、第二外科で研修、研究を継続しておりましたが、園尾前教授のお誘いもあり平成8年4月に講師として赴任、さらに平成27年4月に准教授として今年で23年になりました。

その間、乳腺専門医・指導医、内分泌外科専門医、甲状腺学会専門医を取得し、平成27年には内分泌外科学会学会賞を受賞しました。学会活動も平成23年より日本甲状腺外科学会理事、平成24年より日本内分泌外科学会理事に就任させていただき、平成31年4月からは監事として携わることになっています。また平成19年に発足した内分泌・甲状腺外科専門医制度委員に加えていただいております（平成25年より資格認定委員長）。

東北の震災以来、福島県での小児甲状腺工コーに参加するようになり（中四国地区では私1人だけ参加）、今までに20回以上福島を訪れました。最近では福島県内で小児甲状腺工コーの技術認定制度が始まり、認定委員として実技試験の試験官を仰せつかり参加しています。

学生時代から徳大軽音楽部に属し、主にロックのドラムをたたいた縁で平成16年より川崎医科大学軽音楽部の顧問をしています。

臨床では1997年に当科で初めて気管環状切除を施行して以来、高難度の甲状腺癌における周囲臓器合併手術を継続しています。他院であきらめられた進行甲状腺癌の治療も多数当たっており、今後も最後の砦としての役割を果たしていきたいと考えています。さらに安全性を向上させた低侵襲手術にも取り組んでいます。再発甲状腺癌に、最近では有望な全身療法である分子標的薬も登場し既に20名を超える患者さんに使用してきました。手術以外の治療がなかった患者さんに対しても生存期間の延長やQOL改善ができればと考えています。

皆様には今後とも変わらずご指導の程よろしくお願いいたします。

病院理念

- 1.医療は患者のためにある
- 2.すべての患者に対する深い人間愛を持つ
- 3.24時間いつでも診療を行う
- 4.先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う
- 5.地域の医療福祉の向上と医療人の育成を行う

〒701-0192 倉敷市松島577

川崎医科大学附属病院 地域医療連携室

TEL <直通> 086-464-1567

<代表> 086-462-1111

(内線：22611・22613)

FAX <直通> 086-464-1166

E-mail : renkei@med.kawasaki-m.ac.jp

泌尿器科 部長 宮地 禎幸 (みやじ よしゆき)

平成31年4月1日付で川崎医科大学泌尿器科学特任教授ならびに同附属病院泌尿器科部長を拝命致しましたので、謹んでご挨拶申し上げます。

私は昭和63年に岡山大学医学部を卒業し、泌尿器科に入局しました。

岡山大学病院そしていくつかの基幹病院で研修を受け、平成6年に岡山大学に帰局し尿路悪性腫瘍の基礎的研究、臨床的研究に従事しました。

その後、平成10年から国立岩国病院に医長として赴任し、平成18年から川崎医科大学でお世話になっております。永井敦教授のもと、腹腔鏡手術のさらなる修練を積み、ホルミウム・ヤグレーザーを用いた上部尿路結石に対する内視鏡手術や低侵襲の前立腺肥大症手術を導入し、「患者にやさしい治療」をモットーに低侵襲手術のさらなる推進と、若手医師の教育に取り組んでおります。

近年、高解像度で繊細な手術操作が可能なダ・ヴィンチシステムによるロボット支援手術で泌尿器科領域における手術の低侵襲化はほぼ行き着くところまで来た感があります。平成29年秋に導入後、順調に症例数を増やし、前立腺癌だけでなく、腎細胞癌の施設基準も獲得しました。現在3名の術者ですが、本年度から4名の術者に増やして治療体制を安定させていきたいと考えております。

当院放射線科（画像診断）は前立腺癌のMRI診断に非常に熱心です。昨年夏から県初のMRI画像と3Dエコーの画像融合装置による狙撃生検を放射線科と共同で開始しました。MRI画像で所見のある患者さんのみを融合画像下の狙撃生検を施行し、不要な生検を避け、かつ生検症例は正確な診断を得ることができます。たとえ癌が検出されても、悪性度の低く小さな癌の場合は監視療法で、手術症例でも可能な症例は神経温存による機能温存手術を試みるという、真の「患者にやさしい治療」を目指していきたいと思っております。70代前半までの男性でPSA値が4.0ng/ml以上の患者さんがおられましたら、当科か放射線科にご紹介をお願いします。

皆様にはこれまで13年間大変お世話になりました。

これからも引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

食道・胃腸内科 部長 梅垣 英次 (うめがき えいじ)

平成31年4月1日付で川崎医科大学消化管内科学特任教授ならびに同附属病院食道・胃腸内科部長を拝命いたしましたので謹んでご挨拶申し上げます。

私は昭和61年に大阪医科大学を卒業後、同大学第二内科学教室

（消化器内科）に入局し、日々の臨床を行う傍ら一般臨床に

還元できる研究を行うことをモットーに研究に携わってきました。

基礎研究では消化管粘膜傷害の発生とその修復（消化管炎症）に関する

研究を大きなテーマとして、さらに発癌もターゲットに*Helicobacter pylori* 感染と胃癌の関連性に關した研究も進めました。また消化管の中で、小腸は暗黒大陸と呼ばれた時代がありましたが、小腸内視鏡やカプセル内視鏡の開発・普及に伴い小腸病変の診断が可能となり、治療法が明確でない非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)による小腸粘膜傷害に注目し、その傷害発生機序の解明と予防・治療法の確立をテーマに基礎と臨床から研究を進めました。臨床面では、消化器疾患の診療とともに消化管全体（食道、胃、小腸、大腸）の診断と治療を積極的に行ってきました。特に消化管悪性腫瘍（食道がん、胃がん、大腸がん）に対しては、患者様にやさしい内視鏡治療を開発、推進することに従事し、大阪医科大学に切開・剥離法による新しい内視鏡治療法を導入し、さらに近畿地区で医師主導型の近畿内視鏡治療研究会を研究代表者として設立しました。

平成26年4月、神戸大学消化器内科に着任後はこれまで行ってきた活動を継続し、国内のみならず世界で一番の日本の消化器内視鏡の診断と治療手技を世界へ普及させるために、海外の内視鏡専門医の指導と育成にも関与しました。

この度、ご縁あって川崎医科大学に着任致しましたが、これまでの自分の経験を基に、これからも患者様に還元できる消化器病学／消化器内視鏡学の臨床と基礎に携わりたいと考えます。

末筆ではありますが、皆様方とともに本学および中国地区の医療の発展に全力を投じたいと存じますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

・市民公開講座のご案内

川崎学園は平成30年度から倉敷市と共催し、毎月1回市民公開講座を開催しています。
医療関係の皆さまも是非ご参加ください。

2019年度 第2回 川崎学園市民公開講座のお知らせ

日 時：平成31年5月11日（土）14：00～16：00
会 場：くらしき健康福祉プラザ（5階プラザホール）倉敷市笹沖180



テーマ：「どうする認知症？」

座 長：	川崎医科大学 神経内科学 主任教授	砂田 芳秀
講 演	① 認知症の真実	
	川崎医科大学 神経内科学 主任教授	砂田 芳秀
	② 認知症を診断する	
	川崎医科大学 神経内科学 講師	久徳 弓子
	川崎医科大学附属病院 臨床心理センター 臨床心理士	吉武 亜紀
	③ 認知症を予防する	
	川崎医科大学 神経内科学 特任教授	三原 雅史
	川崎医科大学附属病院 健康診断センター 健康運動指導士	矢島 大樹
	④ 認知症を治療する	
	川崎医科大学 認知症学 主任教授	和田 健二

・医師の動き

多くの異動でご迷惑をおかけいたします。よろしくお願いいたします。

<新任医師>

H31.4.1付	食道・胃腸内科	梅垣 英次	（うめがき えいじ）	部長
	呼吸器外科	黒崎 毅史	（くろさき たけし）	医長
	食道・胃腸内科	半田 修	（はんた おさむ）	医長
	整形外科	難波 孝徳	（なんば たかのり）	医長
	リハビリテーション科	新井 伸征	（あらい のぶゆき）	医長

<昇任医師>

H31.4.1付	乳腺甲状腺外科	田中 克浩	（たなか かつひろ）	部長	← 副部長
	泌尿器科	宮地 禎幸	（みやじ よしゆき）	部長	← 副部長
	中央検査部	辻岡 貴之	（つじおか たかゆき）	副部長	← 医長
	皮膚科	田中 了	（たなか りょう）	副部長	← 医長
	放射線科（画像診断）	山本 亮	（やまもと あきら）	副部長	← 医長
	血液内科	近藤 敏範	（こんどう としのり）	副部長	← 医長
	心療科	村上 伸治	（むらかみ しんじ）	副部長	← 医長
	耳鼻咽喉科	福島 久毅	（ふくしま ひさき）	副部長	← 医長

<採用換>

H31.4.1付	循環器内科	今井 孝一郎	（いまい こういちろう）	医長	旧）麻酔・集中治療科
	臨床腫瘍科	佐野 史典	（さの ふみのり）	医長	旧）血液内科

<川崎医科大学総合医療センターへ移籍>

H31.4.1付	整形外科	田中 健祐	（たなか けんすけ）	医長
	脳卒中科	植村 順一	（うえむら じゅんいち）	医長

<退職医師>

H31.3.31付	リハビリテーション科	椿原 彰夫	部長（H31.4.1付 川崎医療短期大学 学長 就任）	
	病理病棟部	鹿股 直樹	副部長 救急科	堀田 敏弘 医長
	食道・胃腸内科	石井 学	医長 救急科	松尾 瑞恵 医長
	乳腺甲状腺外科	山下 哲正	医長 麻酔・集中治療科	丸濱 美菜子 医長
	整形外科	高田 逸郎	医長 眼科	若宮 俊司 医長
	総合診療科	本多 啓介	医長	